

- 問1 新羅が唐と結び朝鮮半島の統一を進める過程で、日本（倭国）は百済を救援するために軍を派遣しましたが、唐・新羅の連合軍に大敗しました。この戦いの名称と、その後の日本がとった対応に関する説明として、正しい組み合わせを選びなさい。（2014年 和歌山県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 白村江の戦いで敗れ、唐や新羅の侵攻に備えて九州に防人や水城を置いた | 2. 白村江の戦いで敗れ、隋に使者を送るのをやめて大陸との交流を断絶した | 3. 文永の役で敗れ、全国の武士に動員令をかけて博多湾に石築地を築いた | 4. 湊川の戦いで敗れ、朝鮮半島との交易を一切禁止して鎖国体制を整えた |
|--------------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
- 問2 7世紀後半、日本（倭）は百済を支援するために朝鮮半島へ出兵しましたが、白村江の戦いで唐と新羅の連合軍に大敗しました。その後、唐や新羅による日本への侵攻に備え、九州北部に位置する政治の拠点「大宰府」を守るために築かれた、大規模な土塁と堀による防衛施設を何といいますか。（2022年 岩手県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------|--------|-------|-------|
| 1. 水城 | 2. 多賀城 | 3. 烽火 | 4. 防人 |
|-------|--------|-------|-------|
- 問3 645年に始まった政治改革の資料において、中大兄皇子や中臣鎌足が蘇我氏を打倒し、新たな政治体制を築こうとする記述が見られます。この一連の改革によって日本で初めて元号が導入された背景として、最も適切な説明はどれですか。（2019年 熊本県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 中国の唐に対して完全な服従を誓い、唐と同じ元号を使用することで安全保障を得るため。 | 2. 天皇が国の主権者として時間を支配することを示し、中央集権国家の威信を内外に宣言するため。 | 3. 蘇我氏が代々使用してきた独自の暦を廃止し、仏教の教えに基づいた新しい時間管理を行うため。 | 4. 有力な豪族たちが交代で元号を決める権利を持つことで、貴族政治の安定を図るため。 |
|--|---|---|--|
- 問4 聖徳太子（厩戸皇子）が冠位十二階を定めた背景には、どのような意図があったと考えられますか。当時の政治状況を踏まえた説明を選びなさい。（2023年 熊本県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 中国の唐から伝わった最新の法典に基づき、全国に一律の税制と身分制度を導入するため。 | 2. 武士の台頭に対抗するため、公家の中で才能ある若手を抜擢し、軍事力を強化するため。 | 3. 家柄の良い豪族をより厚遇することで、天皇に対する忠誠心を高め、国内の反乱を抑えるため。 | 4. 特定の有力な氏族が政治を動かす仕組みから、天皇を中心とする役人による組織的な政治へ転換するため。 |
|--|---|--|---|
- 問5 現在の福岡県太宰府市周辺には、土を高く盛って作られた巨大な壁と、その外側に水を蓄えた堀の遺構が残っています。この施設が築かれた歴史的背景を説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2019年 神奈川県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. モンゴル帝国（元）の軍隊が九州へ上陸するのを阻止するため、博多湾の沿岸に沿って石造りの壁が築かれた。 | 2. 卑弥呼が治める邪馬台国の集落を、周囲の敵対する勢力から守るために深い溝と柵が作られた。 | 3. 百済を救うために送った軍隊が白村江の戦いで敗れ、唐や新羅が日本へ攻めてくることを防ぐために築かれた。 | 4. 豊臣秀吉が朝鮮半島への出兵（文禄・慶長の役）を行う際、九州北部の拠点を防衛するために築かれた。 |
|---|--|---|--|
- 問6 飛鳥時代から奈良時代にかけての歴史的な出来事をまとめた記録において、日本は遣隋使や遣唐使といった使節を繰り返し中国へ派遣していました。このような使節が派遣された主な目的として最も適切な説明はどれですか。（2020年 静岡県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---------------------------------------|------------------------------------|---|
| 1. キリスト教や鉄砲といったヨーロッパの新しい技術を中国経由で導入するため | 2. 中国の優れた統治システムや文化を学び、日本国内の政治体制を整えるため | 3. 中国の軍事的な援助を受けて、朝鮮半島の諸国を武力で制圧するため | 4. 中国の皇帝から日本の王としての地位を認めてもらい、朝貢貿易を独占するため |
|--|---------------------------------------|------------------------------------|---|
- 問7 6世紀に日本へ仏教を伝えた朝鮮半島の国であり、のちに唐と新羅の連合軍によって滅ぼされた国はどこか。この国が滅亡した際、日本はその再興を支援するために大軍を朝鮮半島へ派遣しました。（2019年 鳥根県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------|-------|--------|-------|
| 1. 新羅 | 2. 百済 | 3. 高句麗 | 4. 高麗 |
|-------|-------|--------|-------|
- 問8 飛鳥時代に遣隋使が派遣された背景や目的について説明した文として、最も適切なものを選択してください。（2017年 大分県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 朝鮮半島での戦いを有利に進めるため、中国の軍事的な援助を直接受けることを目的とした。 | 2. 中国との貿易において、日本産の銀や銅を輸出して経済的な利益を独占しようとした。 | 3. 仏教を日本から中国へ広めるために、聖徳太子自らが選んだ高僧を派遣した。 | 4. 中国の進んだ制度や文化を取り入れることで、天皇を中心とする中央集権国家の形成を目指した。 |
|---|--|--|---|
- 問9 飛鳥時代の出来事のうち、中大兄皇子（天智天皇）らによる大化の改新（645年）よりも前に起こった出来事はどれですか。（2026年 秋田県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------------------------|--------------------------------|-------------------------|-------------------------|
| 1. 天武天皇が壬申の乱に勝利して実権を握った | 2. 正倉院に納められているような精緻な戸籍が全国で作られた | 3. 聖徳太子によって小野妹子が隋へ派遣された | 4. 桓武天皇によって平安京への遷都が行われた |
|-------------------------|--------------------------------|-------------------------|-------------------------|
- 問10 663年に朝鮮半島の西南部の海域で発生した「白村江の戦い」とその後の日本の動向について述べた文として、正しいものはどれですか。（2020年 和歌山県公立入試 類似）
- | | | | |
|-----------------------------------|---|-------------------------------------|------------------------------------|
| 1. 女真族の侵入をきっかけに、朝廷は遣唐使の派遣を完全に停止した | 2. 唐・新羅の連合軍に敗れた後、唐の侵攻に備えて防人や烽（とびひ）を配置した | 3. 元の軍勢を暴風雨の助けを借りて退け、これを機に武士の力が強まった | 4. この戦いに勝利したことで、日本は朝鮮半島南部での影響力を強めた |
|-----------------------------------|---|-------------------------------------|------------------------------------|
- 問11 古代の日本が、唐などの中国の国家体制を手本として「律令」を導入した目的や背景を説明したものとして、最も適切なものはどれか。（2023年 京都府公立入試 類似）
- | | | | |
|---------------------------------------|---|--|-------------------------------------|
| 1. 仏教を国教と定め、寺院が政治の全権を握ることで民衆の不満を抑えるため | 2. 天皇を中心とした中央集権的な国家体制を築き、国内外に対して独立国家としての地位を示すため | 3. 武士が領地を支配する権利を法的に保障し、幕府による全国支配を安定させるため | 4. 地方の有力な豪族に、独自の軍隊と土地支配の権限を公式に認めるため |
|---------------------------------------|---|--|-------------------------------------|
- 問12 推古天皇の即位や冠位十二階の制定などが記された7世紀初頭の歴史年表において、この時期に並行して栄えた文化の記述として、その特徴と中心地の組み合わせが適切なものを選びなさい。（2017年 愛媛県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---------------------------------------|--|---|
| 1. 貴族が日本の風土や生活に合わせた文化を生み出し、平安京を中心に栄えた。 | 2. 日本最初の仏教文化であり、現在の奈良県にある飛鳥地方を中心に栄えた。 | 3. 天武天皇や持統天皇の時期を中心とし、薬師寺の造営などに見られる文化である。 | 4. 唐の文化の影響を強く受けた国際色豊かな文化であり、平城京を中心に栄えた。 |
|--|---------------------------------------|--|---|
- 問13 大化の改新が行われた際、中国の制度にならって日本で初めて導入され、現代の「令和」に至るまで日本の歴史の中で継続して使われている制度は何ですか。（2026年 愛媛県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------|----------|----------|-------|
| 1. 元号 | 2. 班田収授法 | 3. 租・庸・調 | 4. 律令 |
|-------|----------|----------|-------|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 白村江の戦いで敗れ、唐や新羅の侵攻に備えて九州に防人や水城を置いた	663年の白村江の戦いでの大敗後、当時の政権（天智天皇）は、唐や新羅が日本へ侵攻してくることを強く警戒しました。そのため、九州に防人を配備し、大宰府の北側に水城（土塁と溝による防衛施設）を築くなど、国土の防衛体制を急速に整えることとなりました。
問2	答え 1 水城	白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に敗れた倭国は、大陸からの報復による侵攻を強く警戒しました。九州の政治・外交の要所であった大宰府を防御するため、その北側に全長約1.2km、高さ約10mにも及ぶ巨大な土塁を築き、博多湾側には水を湛えた堀を設けました。これを水城と呼び、日本の古代国家における防衛体制の整備を象徴する遺構となっています。
問3	答え 2 天皇が国の主権者として時間を支配することを示し、中央集権国家の威信を内外に宣言するため。	元号の制定は、単なる年数の数え方の変更ではなく、その土地を支配する君主が時間をも支配するという「空間と時間の主権」を象徴する行為でした。大化の改新において中大兄皇子らが日本初の元号「大化」を定めたのは、それまで力を持っていた蘇我氏などの有力豪族を抑え、天皇を中心とした律令国家を形成しようとする強い政治的意志の表れです。
問4	答え 4 特定の有力な氏族が政治を動かす仕組みから、天皇を中心とする役人による組織的な政治へ転換するため。	当時の政治は、蘇我氏などの有力な豪族が強大な権力を持っていました。聖徳太子や推古天皇は、こうした特定の家柄に依存する政治から脱却し、天皇が直接任命した「役人」による効率的な統治を目指しました。冠位十二階は、個人の能力を基準に役人を組織に組み込むことで、天皇の権威を高め、大陸の先進的な国家体制に近づけようとする目的がありました。
問5	答え 3 百済を救うために送った軍隊が白村江の戦いで敗れ、唐や新羅が日本へ攻めてくることを防ぐために築かれた。	7世紀、朝鮮半島では新羅が唐と結んで勢力を拡大し、倭と親交のあった百済を滅ぼしました。倭は百済復興のために軍を派遣しましたが、白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に敗北しました。これにより本土への侵攻を恐れた天智天皇（中大兄皇子）は、大宰府を守るための「水城」や、西日本の各地に「朝鮮式山城」と呼ばれる城を築き、国防を急ぎ整えました。選択肢にある「防塁」は鎌倉時代の元寇に対する備えであり、時代背景が異なります。
問6	答え 2 中国の優れた統治システムや文化を学び、日本国内の政治体制を整えるため	当時の日本は、大陸の先進的な文明を取り入れることで中央集権国家を確立しようとしていました。小野妹子などの使節とともに多くの留学生や学問僧が中国へ渡り、律令制度や仏教、芸術などを学ぶことで、大化の改新や平城京の建設といった国づくりに大きく貢献しました。
問7	答え 2 百済	538年（または552年）に聖明王を通じて日本に仏教を伝えたことで知られる国です。7世紀に入り、朝鮮半島の統一を目指す新羅が唐と結んだことにより、660年に滅ぼされました。日本と密接な外交関係にあったため、当時の日本政府は遺民とともに国の再興を試みましたが、白村江の戦いでの敗北により失敗に終わりました。
問8	答え 4 中国の進んだ制度や文化を取り入れることで、天皇を中心とする中央集権国家の形成を目指した。	当時の日本は、冠位十二階や十七条の憲法の制定など、国内の政治体制を整える必要があった。そのため、中国の進んだ政治制度や文化を吸収し、国内の豪族を統制して天皇中心の政治を確立することが派遣の大きな目的であった。
問9	答え 3 聖徳太子によって小野妹子が隋へ派遣された	遣隋使の派遣は607年に行われた出来事であり、645年の大化の改新よりも前です。壬申の乱（672年）や、721年の正倉院文書に見られるような律令制度に基づく戸籍の整備、そして794年の平安京遷都はすべて大化の改新よりも後の出来事です。
問10	答え 2 唐・新羅の連合軍に敗れた後、唐の侵攻に備えて防人や烽（とぶひ）を配置した	白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に敗北した日本は、大陸からの報復を強く警戒しました。そのため、九州の防衛のために防人を置き、急を知らせるための烽（のろし）のネットワークを整備しました。また、天智天皇は都を内陸の近江大津宮へ移すなど、国家の防衛と中央集権化を加速させました。選択肢にある元の侵攻（元寇）や女真族の侵入（刀伊の入侵）は、いずれも白村江の戦いよりも後の時代の出来事です。
問11	答え 2 天皇を中心とした中央集権的な国家体制を築き、国内外に対して独立国家としての地位を示すため	当時の東アジア情勢の中で、日本が統一された文明国家であることを示す必要がありました。律令を導入することで、土地と人民を国家の管理下に置く（公地公民）仕組みを作り、戸籍の作成や租・庸・調といった税制を確立させ、天皇に権力を集中させる国家体制の構築を目的としました。
問12	答え 2 日本最初の仏教文化であり、現在の奈良県にある飛鳥地方を中心に栄えた。	飛鳥時代、特に推古天皇の時代には現在の奈良県明日香村周辺（飛鳥）に政治の拠点が置かれていました。渡来人の技術を取り入れた寺院建築や仏像制作が盛んに行われ、仏教を中心とした独自の文化が形成されました。選択肢にある平城京や天平文化、平安京や国風文化は、より後世の時代の特徴です。
問13	答え 1 元号	645年の改革に際し、日本で最初の元号として「大化」が定められました。これは、天皇が空間だけでなく「時間」も支配するという考え方に基づいたものです。以後、一部の中断を除いて現代まで元号の制度は引き継がれています。